ADgear

REPORTER BOX
RB-5

INSTRUCTION MANUAL

この度はアドギアー製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

ご使用前に、必ずお読みください。

⚠ 安全にご使用頂くため、次の事を必ずお守りください。

1. 設置に関して

1-1. 設置環境

●引火性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。スイッチ等の操作で火花が飛んで火災が起こる危険性があります。

●また、腐食性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。腐食により、絶縁不良を起こし、機器の故障や火災の原因になります。

○その他仕様で定められた環境に於てご使用ください。

1-2. ラックマウント

●ラックマウントする時は、特別の規定が無い限り 5mm の ISO ネジを使用し、それに合ったドライバーを使用して取り付けてください。5kg を越える機器を取り付ける場合は二人で作業し、一人はラック後面から機器を支えてください。

○４本の取り付けネジはラックイヤーの下側のネジから取り付けてください。それ以外の方法で取り付けると、怪我をする場合があります。

1-3. 供給電源電圧の確認

●日本国内向けのアドギアー製品の供給電源電圧は特別の仕様でない限り AC100V ± 10 %となっています。これ以外の電圧が加えられますと正常に動作しないばかりか、機器の故障あるいは火災の危険があります。

●必ず規定の電圧を供給してください。

● DC 電源仕様機器の場合は規定の直流電源を正しい極性で供給してください。

○ DC 電源仕様の機器に AC（交流）電源を供給すると機器の故障や火災の原因になりますので絶対にこの様な事はしないでください。

1-4. 電源供給

●電源プラグをコンセントに差し込む時は本体の電源スイッチが OFF になっている事を確認してから差し込んでください。電源スイッチが ON になったまま電源プラグを差し込むと、操作スイッチやボリウムの設定によっては接続されている機器の故障を招いたり予期せぬ動作により怪我あるいは死亡事故の原因になる危険性があります。

1-5. 機器カバーを外して内部の設定をする時

●内部にある設定スイッチを操作する等、機器カバーを外さなければならなくなった時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

○電源プラグを差したまま作業をすると、機器故障の原因になるばかりでなく感電等で火傷を負ったり電気ショックにより死亡する危険性もあります。

また、内部のコンデンサーに電荷が残っている場合がありますので電源 OFF 直後にこの様な作業は行わないでください。

2. 運用中の安全確認

2-1. 電源プラグの清掃

●電源プラグ付近に埃が溜まるとその埃が湿気を吸って短絡し、火災の原因になる恐れがあります。

定期的に点検清掃を行ってください。点検間隔は設置環境によります。

3. 保守における安全確保

3-1.

［1. 設置に際して］の注意がそのまま適応されます。

3-2. その他

●機器をラックから取り外す時は電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。また、ラックマウントねじを外す順番は、上のねじから先に外してください。5Kg を越える機器は二人で作業し、必ず一人は機器を支えてください。

CONTENTS

GENERAL 4
SPECIAL FEATURE 4
OPERATION 5
<FRONT PANEL> 5
<REAR PANEL> 6
TECHNICAL SPECIFICATIONS 8
BLOCK DIAGRAM 9
APPEARANCE 10

GENERAL

RB-5 レポーターボックスは、道路交通情報をはじめとする局外中継に便利なオーディオインターフェイスです。マイクアンプ、カフコントロール、モニター機能をコンパクトなケースに凝縮しています。

マイクプリアンプにはコンプレッサーを内蔵しているため、局外中継など特に不特定多数のレポーターが使用する現場に於いて威力を発揮します。

カフコントロールにはアドギアーオリジナルの無接点レバーを採用。接触不良の無い安定した動作が得られます。出力はトランス方式ですので、専用線等のメタル回線に直結した場合でも安心してお使い頂けます。

モニターは、AIR INPUT コネクターから入力された信号を内蔵のイヤホンアンプおよびスピーカーに出力します。スピーカーはカフオンでカットするように設計されているためハウリングの心配はありません。

また、コーデックの使用を想定した N-1 MIX モニターは、ホスト局からの遅延したマイナスワン音声にマイク本線を任意のバランスでミックスしてモニターすることができます。

SPECIAL FEATURE

■マイクアンプ、カフコントロール、モニター機能を凝縮
■コーデックに対応したマイナスワンミックスモニター搭載
■無接点レバーによる安定したカフ動作
■コメントの録音に便利なレックアウト端子（φ 3.5 ステレオミニジャック）
■事前の回線チェックを容易にする LOOP 機能

OPERATION

<FRONT PANEL>

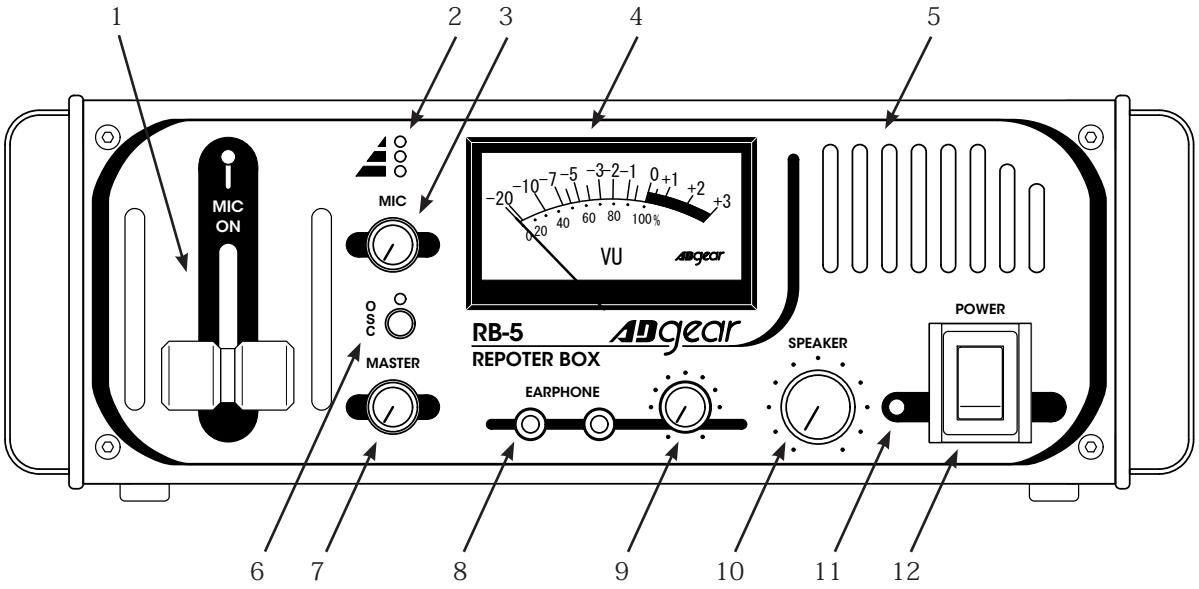
1.COUGH SWITCH
マイクをオン／オフするためのカフスイッチです。
レバーを上げると、モニタースピーカーをカットし、MIC ON TALLY を出力します。

2.COMP GR MATER
内蔵のコンプレッサーのゲインリダクション量を表示します。

3.MIC GAIN
マイク入力レベルを調整します。

4.VU METER
ライン出力レベルを監視します。
LOOP 動作時（LOOP スイッチオンで電源オフのとき）は VU ランプは点灯しませんが、AIR INPUT 信号を監視します。

5.SPEAKER
AIR INPUT に入力された信号をモニターするための内蔵スピーカーです。カフスイッチがオンのときはカットされます。



6.OSC
ライン出力に基準信号（1kHz/+4dBu）を出力します。
カフスイッチがオンのときは動作しません。

7.MASTER
ライン出力のマスターボリウムです。10dBのゲインマージンがありますので、ハイインピーダンス負荷の場合は2時の方向が基準位置になります。

8.EARPHONE
AIR INPUT に入力された信号（N-1 MIX を含む）をモニターします。カフスイッチの状態に関わらず出力します。

9.EARPHONE LEVEL
イヤホンの音量調整を行います。

10.SPEAKER LEVEL
モニタースピーカーの音量調整を行います。

11.POWER インジケーター
AC100V 動作時は緑色に、DC+12V 動作時は赤色に点灯します。

12.POWER SWITCH
本機の電源スイッチです。

OPERATION

<REAR PANEL>

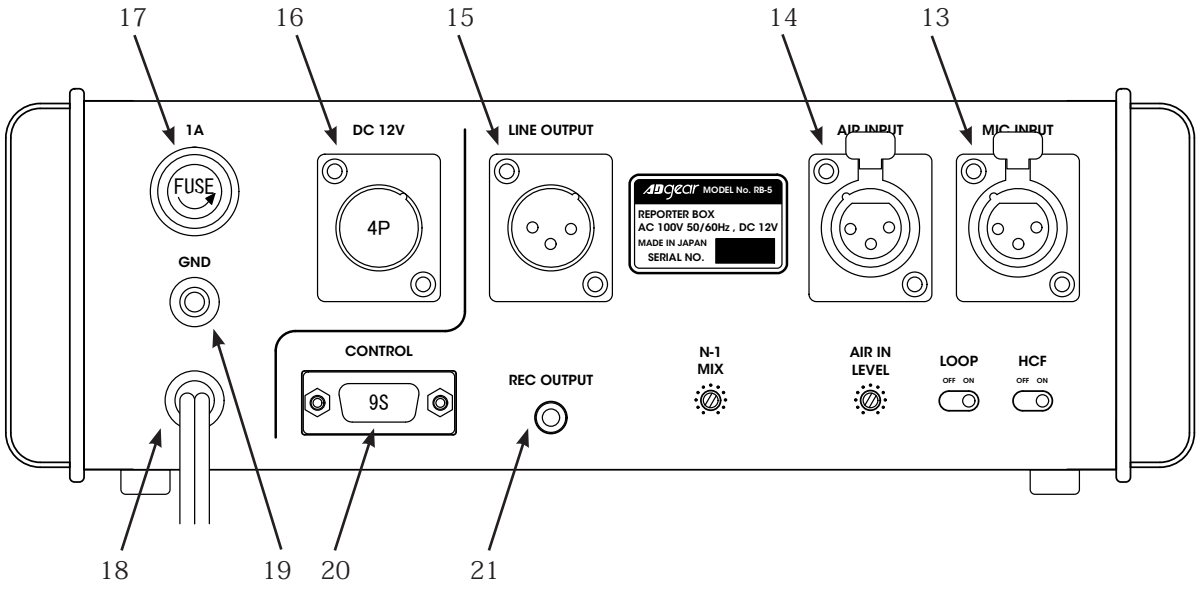
13.MIC INPUT
マイクを接続します。

14.AIR INPUT
受け側局からのリターン、チューナー、ミキサー出力等を接続します。トランスによるハイインピーダンスバランス入力です。

15.LINE OUTPUT
マイク本線のライン出力で、トランスによるバランス出力です。放送回線等に接続します。

16.DC INPUT
DC オペレーション用の DC 入力コネクターです。
（1 番ピン 0V、4 番ピン +12V）

17.FUSE 1A
1A のヒューズをお使いください。



18.AC100V
電源入力ケーブルです。AC100V、50/60Hz に接続してください。

19.GND
フレームグランド端子です。

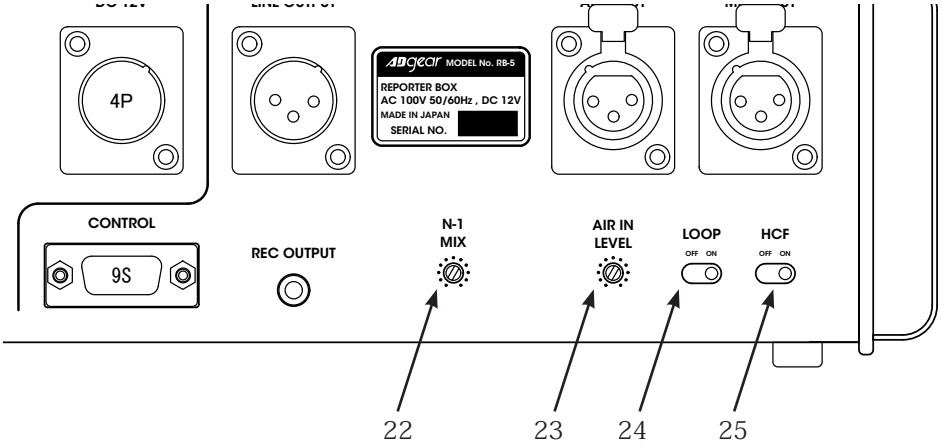
20.MIC ON TALLY
マイクオンタリーをフォトモスリレー接点で出力します。

21.REC OUTPUT
AIR INPUT に入力された信号（N-1 MIX を含む）を出力します。コメントチェックのためのの録音にご利用いただけます。

OPERATION

22.N-1 MIX
マイナスワンミックスモニターを使用するとき、AIR INPUT に入力された信号にミックスする本線信号のレベルを調整します。

＜マイナスワンミックスモニター＞
コーデック等のレイテンシーが大きな回線を使用する場合、受け側局からはマイナスワン信号をモニターとして返してもらいます。この信号に RB-5 の本線信号を任意のバランスでミックスしてモニターすることで、自分のコメントはレイテンシーを含まない状態で聴くことがで



23.AIR IN LEVEL
AIR INPUT の入力レベルを調整します。
-20dBu ～ +4dBu をカバーしていますので、チューナから専用回線まで幅広く対応します。

23.LOOP
このスイッチをオンにしておくと、本機の電源がオフの時は AIR INPUT と LINE OUTPUT が直結され、受け側局から折り返しの回線チェックが可能となります。

24.HCF
ライン出力を３ｋＨｚでハイカットします。
（12dB/OCT）

※注意事項
本製品は機器の操作の際に間単に動くことがないよう重量を増した設計を施していますので、機器の移動の際には充分に注意して下さい。

TECHNICAL SPECIFICATIONS

◆ MIC INPUT

XLR-3-31 タイプ・2 番ホット
アクティブバランス型
入力インピーダンス 2.5kohm
入力レベル -66dBu 〜 -36dBu 可変。

◆ AIR INPUT

XLR-3-31 タイプ・2 番ホット
トランスによるハイインピーダンスバランス型
入力レベル -20dBu 〜 +4dBu に対応。

◆ LINE OUTPUT

XLR-3-32 タイプ・2 番ホット
600ohm 負荷に適するローインピーダンス
トランスによるバランス出力
基準出力レベル +4dBu

◆ REC OUPUT

φ 3.5 ステレオミニジャック
10k Ω以上の負荷に適合
基準出力レベル -10dBu

◆イヤホン出力

φ 3.5 ミニジャック
8 Ω以上の負荷に適合
最大出力　30mW

◆サイズ

242(W) × 80(H) × 265(D)

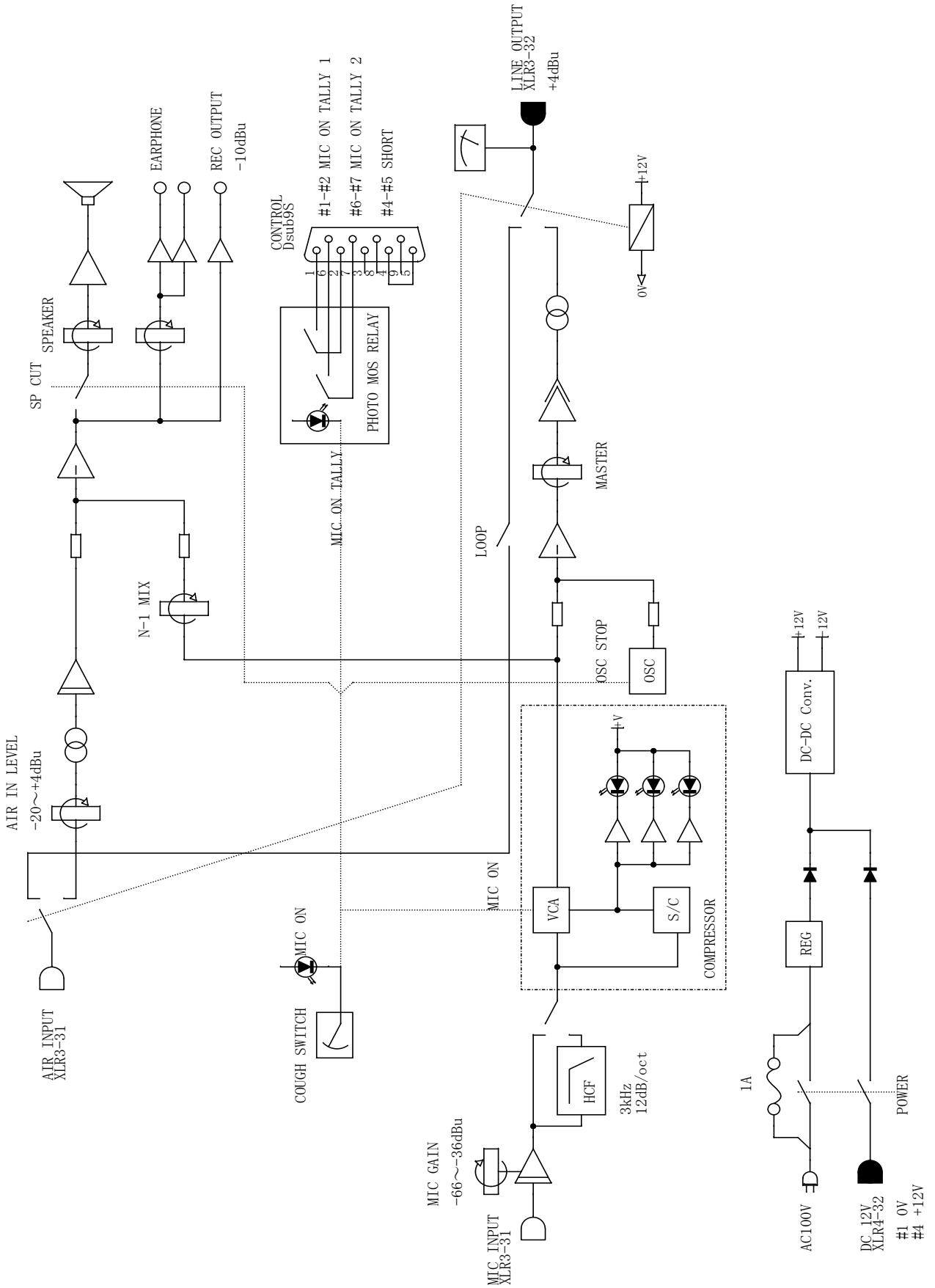
◆重量

3.5kg

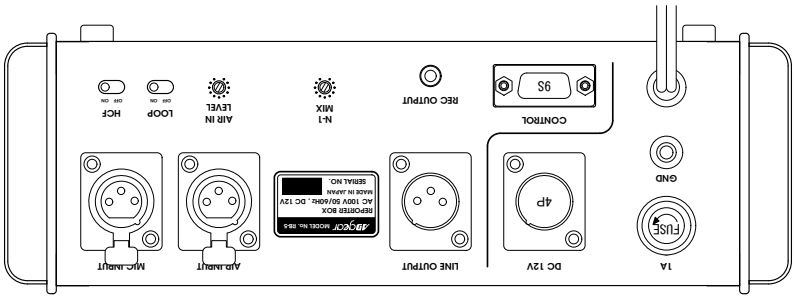
◆電源

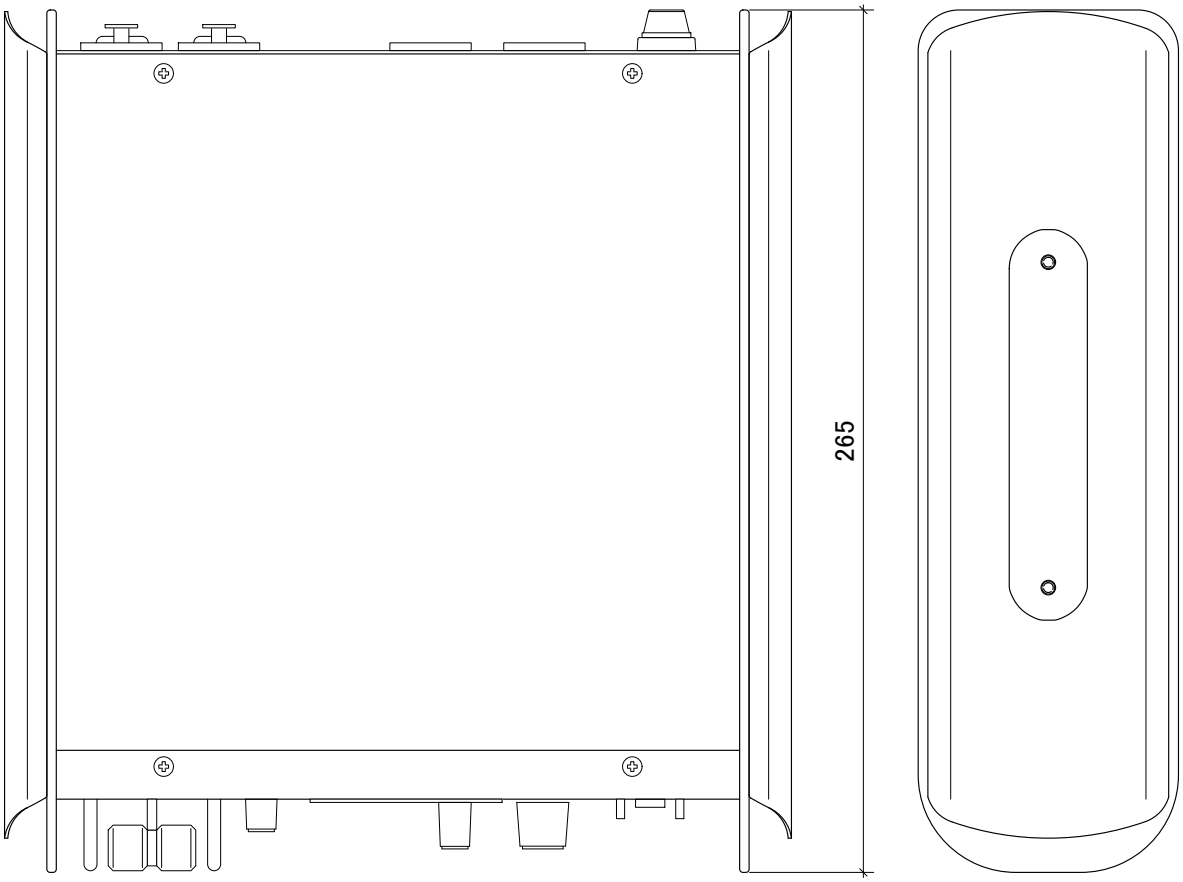
AC100V 50/60Hz 20VA
DC12V 0.5A

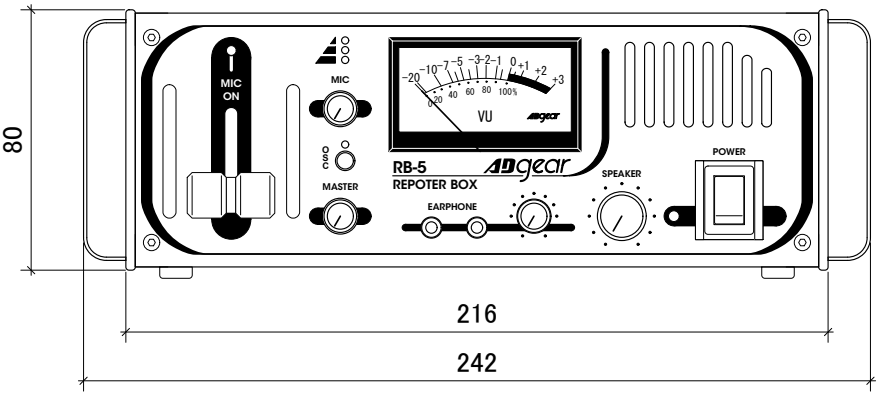
BLOCK DIAGRAM



APPEARANCE


MIC INPUT
AUX INPUT
LINE OUTPUT
DC 12V
1A
FUSE
GND
CONTROL
9S
REC OUTPUT
N-1 MIX
AIR IN LEVEL
LOOP
HCF
4P


265


80
MIC ON
MIC
MASTER
VU
RB-5
REPOTER BOX
EARPHONE
SPEAKER
POWER
216
242

製品の保証について

この度は､アイコニック製品をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。
当社製品は下記の通り保証・サービスをさせて頂きます。
御購入後 1 年間を保証期間とし、この期間中に正常な御使用状態で故障した場合は、無償で修理致します。
製品が故障して修理をお申し付けの場合は、故障前後の御使用状況を詳細にお知らせくださる様、お願い致します。
無償修理は、原則として機器をお持込みによるものと致します。運送業者に依託される場合は、荷造り等に充分御注意下さる様お願い致します。この時、保険を掛ける事をお奨め致します。輸送中の事故は保証範囲に含まれません。
遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する費用を別途お申し受け致します。
保証期間後も、サービスは有償となりますが、引続きアイコニックが責任を持ってサービスさせて頂きます。

▼お問い合わせ▼
株式会社アイコニック
〒 205-0011 東京都羽村市五ノ神 1-15-7
Tel.042-579-0520 Fax.042-579-0529